

令和3年度事業報告書

社会福祉法人 三豊市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業	2	8. 生活困窮者自立支援事業	
		(1) 生活困窮者自立相談支援事業	28
2. 地域福祉事業		(2) 子どもの学習支援事業	29
(1) 地域福祉活動推進事業	6	(3) 家計改善支援事業	30
(2) 福祉啓発事業	8	(4) 就労準備支援事業	30
(3) 相談事業	9	9. ファミリー・サポート・センター事業	
(4) 福祉バス管理運営事業	10	(1) ファミリー・サポート・センター事業	31
(5) ボランティア活動推進事業	10	(2) 子育てホームヘルプ事業	33
(6) 団体助成事業	11	10. 居宅介護支援事業	34
(7) 認知症サポーター養成講座事業	11	11. 訪問介護事業	
(8) 障害児長期休暇中預り事業	11	(1) 訪問介護事業	36
(9) 自発的活動支援事業	11	(2) 生活支援訪問事業	37
(10) 生活支援体制整備事業	12	(3) その他訪問事業	37
(11) 三豊市こどもの居場所づくり事業	14	12. 障害福祉サービス事業	
3. 共同募金配分事業		(1) 障害福祉サービス事業(居宅介護)	39
(1) 福祉セミナー等開催事業	16	(2) 障害福祉サービス事業(行動援護)	39
(2) 福祉教育普及推進事業	16	13. 移動支援事業	39
(3) 居場所づくり推進事業	18	14. 高齢者デイサービスセンター事業	40
(4) 広報啓発事業	19	15. 生活支援通所事業	40
(5) 社会福祉大会開催事業	20	16. 高齢者生活福祉センター事業	41
(6) 災害対策推進事業	20	17. 地域移動支援事業	41
(7) まるみプラン推進事業	21	18. その他事業	
(8) 地域我が事・丸ごと推進事業	23	(1) 老人クラブ連合会	41
4. 生活福祉資金貸付事業	24	(2) 共同募金事業	44
5. 福祉サービス利用援助事業	25	(3) 子育てボランティアみみちゃん	46
6. 法人成年後見等事業		(4) フードバンク事業	46
(1) 法人成年後見等事業	26	(5) NPO法人後見ネットかがわへの協力	47
(2) 市民後見人養成支援事業	27		
7. 生計困難者に対する相談支援事業	28		

事業報告の概要

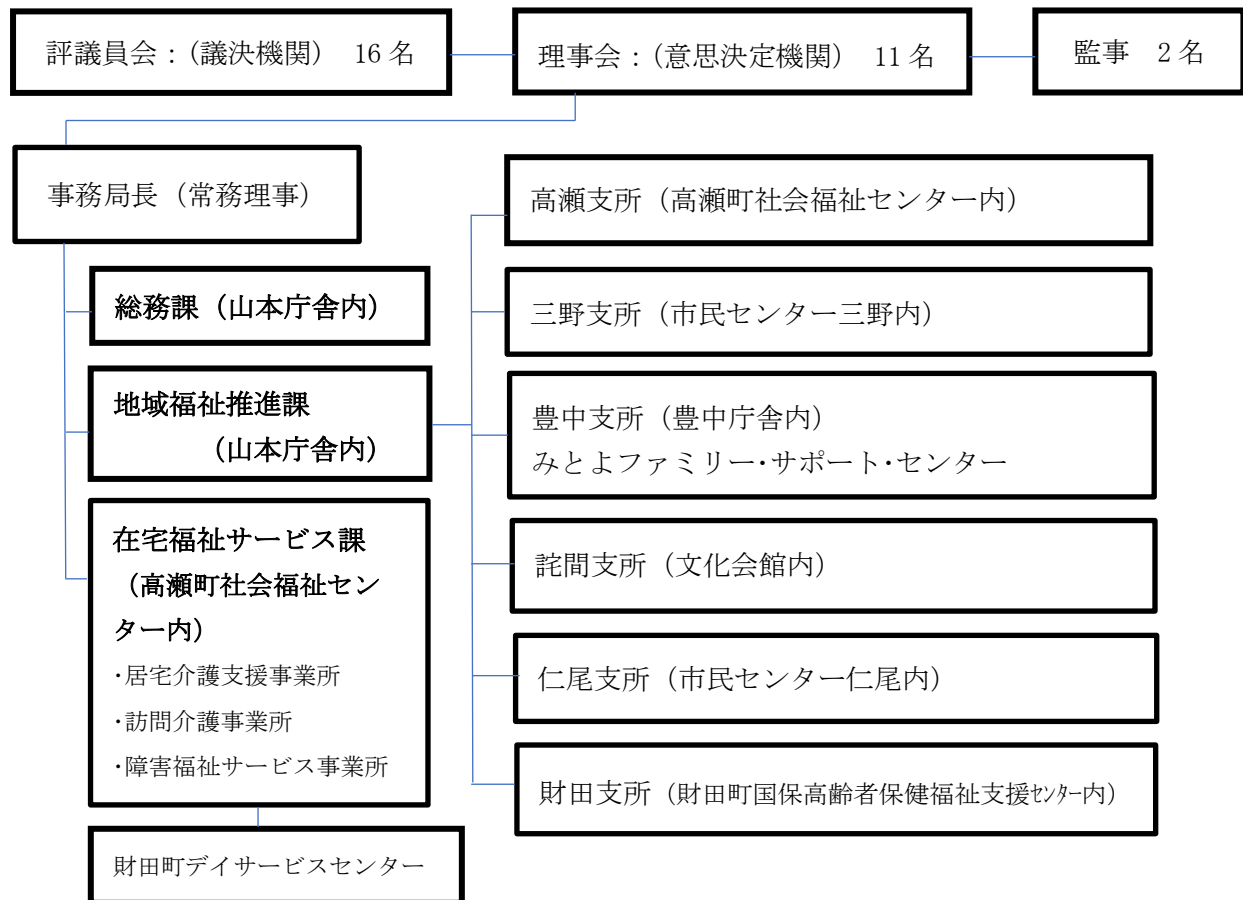
三豊市社会福祉協議会は、市民が住み慣れた地域でみんなが助け合い、一緒に支え合うことのできる暮らしやすい地域づくりをめざし、『くらし・こころ・みらい「豊かなまちづくり」』を基本理念に各事業に取り組んでいます。しかし、新型コロナウイルス感染者数の増減は続いており終息の目途は立たず、事業活動や地域住民による地域福祉活動について、実施方法の変更など活動内容の大きな変容を迫られました。また、これまで経験したことのない社会の変化に社協職員、地域住民が直面する中で、“つながり”が途切れることなく、お互いの暮らしを気にかけてあい支え合うには、どうすればいいのか協議を重ねながら新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、地域の皆さま、行政、福祉関係者等と連携し、各種事業に取り組んでまいりました。

こうした中で、新たに「生活困窮者自立支援事業」を受託し、コロナ禍等の影響を受け経済的に困窮し、最低限の生活を維持できなくなるおそれのある方に対して、生活や就労等の幅広い相談支援を行い、“誰もが安心して共に暮らせる人にやさしい福祉のまちづくり”に努めました。

以下、令和3年度の具体的な事業実績等について報告します。

組織図・職員状況等

(令和4年3月31日現在)



【職員体系】 ※常勤職員数

事務系	・事務局長(嘱託) 1	・正職員 15	・有期雇用職員 12	・嘱託 1
介護系	・正職員 12	・有期雇用職員 7	・嘱託 3	合計 51名

1. 法人運営事業 事業費 98,288,181円

① 理事会・評議員会等の開催

<理事会>

開催日	議事等
第71回 令和3年6月9日 出席 理事10人 監事2人 欠席 理事1人	報告第1号 会長専決事項について 議案第1号 令和2年度事業報告について 議案第2号 令和2年度収支決算について 議案第3号 諸規程等の制定並びに一部改正について 議案第4号 次期評議員選任候補者の推薦について 議案第5号 次期役員（理事・監事）候補者の選定について 議案第6号 第59回評議員会（定時評議員会）の招集について
第72回 6月24日 出席 理事11人 監事2人	報告第1号 第三者委員の委嘱について 議案第1号 会長、副会長、常務理事の選定について
第73回 9月24日 出席 理事10人 監事2人 欠席 理事1人	報告第1号 会長専決事項について 報告第2号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第1号 地域移動支援事業の取り組みについて 議案第2号 令和3年度第1次資金収支補正予算について 議案第3号 諸規程等の一部改正について 議案第4号 防災倉庫設置に係る工事請負契約の締結について 議案第5号 第60回評議員会の招集について
第74回 12月8日 出席 理事9人 監事2人 欠席 理事2人	議案第1号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第2号 令和3年度第2次資金収支補正予算について 議案第3号 諸規程等の一部改正について 議案第4号 不動産の取得について 議案第5号 役員（理事）候補者の選定について 議案第6号 第61回評議員会の招集について
第75回 令和4年3月7日 出席 理事11人 監事2人	報告第1号 会長専決事項について 報告第2号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第1号 令和3年度第3次資金収支補正予算について 議案第2号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第3号 令和4年度事業計画について 議案第4号 令和4年度資金収支予算について 議案第5号 諸規程等の一部改正について 議案第6号 第62回評議員会の招集について

<評議員会>

開催日	議事等
第59回 令和3年6月24日 出席 評議員16人 監事2人	議案第1号 令和2年度事業報告について 議案第2号 令和2年度収支決算について 議案第3号 就業規則等の制定並びに一部改正について 議案第4号 次期役員（理事・監事）の選任について

第 60 回 10 月 7 日 出席 評議員 16 人 監事 2 人	議案第 1 号 地域移動支援事業の取り組みについて 議案第 2 号 令和 3 年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 諸規程等の一部改正について
第 61 回 12 月 21 日 出席 評議員 15 人 監事 2 人 欠席 評議員 1 人	議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和 3 年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 諸規程等の一部改正について 議案第 4 号 不動産の取得について 議案第 5 号 役員（理事）の選任について
第 62 回 令和 4 年 3 月 25 日 出席 評議員 14 人 監事 2 人 欠席 評議員 2 人	議案第 1 号 令和 3 年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 4 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 4 年度資金収支予算について 議案第 5 号 諸規程等の一部改正について

<監事会>

開催日	議事等
令和 3 年 5 月 24 日 出席 会長・監事 2 人	令和 2 年度事業報告について 令和 2 年度収支決算について

<評議員選任・解任委員会>

開催日	議事等
第 8 回 令和 3 年 6 月 9 日 出席 委員 4 人	評議員の選任について

② 役職員等研修会

役職員等が、三豊市社協は具体的に「どのような地域を目指しているのか」また、そのために「事業・活動等をどのように進めていくのか」、といった組織の使命やビジョンを改めて確認するとともに、これらの共通理解をもって日々の業務・実践にあたることが重要なことから、県社協等が開催する研修会等に参加した。また、新型コロナウイルスの影響のため、一部オンライン研修となった。

開催日等	内容等
令和 3 年 6 月 4 日 常務理事	令和 3 年度香川県内社会福祉協議会連絡協議会理事会 (オンライン会議)
令和 3 年 11 月 17 日 常務理事	第 10 回香川県内社会福祉協議会常務理事・事務局長等セミナー (高松市)
令和 3 年 12 月 24 日 令和 4 年 2 月 21 日 常務理事	令和 3 年度市町社会福祉協議会常務理事・事務局長等会議 第 1 回 (高松市) 第 2 回 (Web 会議)
令和 3 年 4 月 23 日 職員 5 人	令和 3 年度社協職員基礎研修会
令和 3 年 7 月 10 日 職員 7 人	令和 3 年度四国地域福祉実践セミナー ALL 幡多 in 宿毛 (オンライン団体)

令和3年11月10日 職員7人	令和3年度四国ブロック市町村社会福祉協議会研究協議会 (Web研修)
令和3年12月14～15日 職員1人	香川県内社協職員次世代育成研修会(高松市)
令和4年1月21日 職員11人	第8回香川県内社会福祉協議会実践研究大会(高松市)

③ 自主財源の確保

(ア) 会員の募集

市内全域及び地区の福祉活動の推進のため、会費の納入について協力を自治会長等をお願いした。

- ・一般会費(一口 500円)
令和3年度 17,235戸 8,607,250円
(令和2年度 17,314戸 8,657,250円)
- ・賛助会費(2,000円以上)
令和3年度 32件 221,000円
(令和2年度 19件 142,000円)

<一般会費内訳>

地区	戸数	実績額	地区	戸数	実績額
高瀬	3,906	1,953,000	詫間	3,792	1,896,000
山本	1,768	84,000	仁尾	1,642	810,750
三野	2,391	1,195,500	財田	1,020	510,000
豊中	2,716	1,358,000	市外	0	0
			合計	17,235	8,607,250

※一般会費と賛助会費合計 8,828,250円

(イ) 社会福祉事業への香典返し等(寄附金・物品寄附)

寄附者の意に沿うよう「地区社協」の活動助成を行う等、地域福祉に関係する活動を支援した。

<寄附の内訳>

※()内は前年度末

項目	件数	金額
寄附金	27 (30)	1,673,520 (1,769,841)
物品寄附(車イス)	1 (1)	30,000 (30,000)
合計	28 (31)	1,703,520 (1,799,841)

④ 地区社協への助成

地区社協の地域福祉活動に対し助成金を交付した。

<各地区社協の状況>

24地区社協 助成金総額 4,550,000円

地区	地区社協	設立年月	主な活動内容
高瀬	勝間	S53.4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング(コロナ禍のため中止)、高齢者訪問、学校等の情報交

			換会、世代間交流、福祉用備品設置等
	上高瀬	S46.4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング(コロナ禍のため中止)、高齢者訪問、学校等の情報交換会、福祉用備品設置等
	二ノ宮	S53.4	元気会(内容を変更して実施)、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流等
	比地二	S53.4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング(コロナ禍のため中止)、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、福祉用備品設置等
	麻	S47.4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング(コロナ禍のため中止)、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、福祉用備品設置等
山本	辻	H19.3	ぼだい山登山、防災研修、敬老会、高齢者等訪問、しめ縄作り、交通安全教室、奉仕活動、地区社協だより等
	河内	H19.3	ふれあい交流活動、健康ウォーキング、料理教室(コロナ禍のため中止)、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	財田大野	H19.3	三世代交流活動、ウォーキング、防災講習、寄せ植え、凧揚げ大会、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	神田	H19.3	神田の歴史・文化をたずねて、立石山登山、男性料理講習(コロナ禍のため中止)、ウォーキング(宝山湖・お花見)、敬老会、高齢者訪問、地区社協だより等
三野	下高瀬	H18.4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動他
	吉津	H18.4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動他
	大見	H18.4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動他
豊中	桑山	H17.12	高齢者訪問、施設訪問、まるみウォーキング等
	比地大	H17.8	安全パトロール、ひとり暮らし高齢者等訪問、サロン支援、まるみウォーキング等
	笠田	H18.2	地域づくり講演会、ひとり暮らし高齢者訪問、まるみウォーキング等
	上高野	H18.5	配食サービス、福祉推進月例会、まるみウォーキング等
	本山	H17.8	友愛訪問、高齢者訪問、まるみウォーキング等
詫間	松崎	H21.1	見守り活動、松崎史蹟めぐり、ふれあい会食(コロナ禍のため中止)、サロン支援、敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力等

	詫間	S42.3	ウォーキングマップ作成・配布、敬老会（訪問・安否確認）、たくま分散ウォーキング協力等
	大浜	S42.3	敬老会（訪問・安否確認）、たくま分散ウォーキング協力等
	箱浦	H21.4	敬老会（訪問・安否確認）、たくま分散ウォーキング協力、海浜清掃活動協力等
	栗島・志々島	S42.3	敬老会（訪問・安否確認）、たくま分散ウォーキング協力、海浜清掃活動協力等
仁尾	仁尾	H18.6	敬老会（訪問・安否確認）、福祉ポスター募集・展示、サロン支援、見守り活動、三世代交流ペタンク会場環境整備（地区地域福祉活動計画実行委員会応援）
財田	財田	H18.11	高齢者配食サービス（おはぎ、弁当） 防災講演会、高齢者と年賀状交流（小学生に依頼）

2. 地域福祉事業 事業費 10,266,985円

(1) 地域福祉活動推進事業 事業費 2,423,548円

① 福祉協力員の設置支援

小地域福祉活動の活性化や援助活動等の担い手である福祉協力員等を設置している9地区社協に対し、要綱に基づき助成金を交付した。

<助成状況>

地区（設置地区社協）	人数	助成額	活動内容
高瀬地区			
麻地区社協	6	12,000	地域の見守り 元気会やサロンの補助等
二ノ宮地区社協	10	20,000	
上高瀬地区社協	9	18,000	
勝間地区社協	11	22,000	
比地二地区社協	6	12,000	
三野地区			
大見地区社協	7	14,000	地域の見守り サロンの補助等
吉津地区社協	5	10,000	
下高瀬地区社協	5	10,000	
豊中地区			
上高野地区社協	45	90,000	地域の見守り サロンの補助等
合計	104	208,000	

② こんにちはコール

ひとり暮らし高齢者等に、電話訪問員（ボランティア）が電話を通じて話を聴くことで、安否の確認と孤独感の緩和を図るとともに、民生委員・児童委員等と連携をとりながら見守り活動の充実を図ることを目的に実施した。

○実施内容

月2回（第2・4水曜）ボランティアゆうゆうの会により本所（山本）にて実施

月2回（第1・3水曜）民生委員・児童委員により財田にて実施

○利用者数 ゆうゆうの会 11人、財田地区 6人 計 17人

③ 緊急医療情報キット（まるみちゃん安心キット）の設置

緊急医療情報キットの設置は、主にひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がいのある人などを対象に、緊急時に迅速な救急活動を円滑に行うため、かかりつけ医・薬剤情報・緊急連絡先などを記入した書類を容器（キット）に入れて保管しておき、緊急時に役立てることを目的に実施した。

民生委員・児童委員の協力により新たに必要とする方へ設置し、併せて年1回（年度始め）の更新を実施した。また、消防署より年度内の安心キット活用事例について情報提供を頂き、普及啓発に努めた。

<キット設置状況>

地区		高瀬	山本	三野	豊中	詫間	仁尾	財田	合計
区分	①	4	9	6	1	15	4	2	41
	②	0	2	2	0	0	0	2	6
	③	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤	0	0	0	0	0	0	0	0
年度内設置計		4	11	8	1	15	4	4	47
年度末設置世帯		145	44	96	71	215	82	35	688
年度末利用人数		154	47	151	77	260	93	41	823

【区分】① 65歳以上の者のひとり暮らし世帯

② 65歳以上の者のみで構成されている世帯（高齢者世帯）

③ 65歳以上の者が含まれる世帯（高齢者同居世帯）

④ 障がいのあるひとり暮らし世帯

⑤ その他

④ 福祉器具貸出

車イス：年度末現在 88台所有

（内、市民への貸出可能台数 56台、施設等常設 24台、デイサービス専用 8台）

<車イス貸出件数>

高瀬地区	45	詫間地区	20
山本地区	12	仁尾地区	14
三野地区	10	財田地区	18
豊中地区	17	合計	136

・その他、高齢者疑似体験セットの貸出を実施した。

⑤ チャイルドシート・ジュニアシート貸出

乳幼児の保護者等に、チャイルドシート等を貸出することにより、乳幼児の健全な成長を支援するとともに、子育て中の保護者等（里帰り・帰省時）に係る経済的な負担や、乳幼児交通事故防止、交通事故被害者の軽減を図ることを目的に貸し出しをした。新型コロナ

ナウイルス感染拡大時の貸し出しは減少していたが、まん延防止等が解除されると増加した。コロナ禍2年目ということもあり、里帰りや帰省も感染者が少ない時期に集中しており、チャイルドシートが足りないこともあった。今後は、集中することも考え台数を検討していきたい。

<月別利用者数>

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	4	2	2	3	2	2	2	3	5	1	1	4	31

⑥ 実習生受入事業

社会福祉士養成校より社会福祉士 実習生 1人を受入れ、令和3年4月15日～令和3年7月8日のうち24日間、相談援助実習を行った。

(2) 福祉啓発事業 事業費 114,754円

① 福祉作文

社会福祉の啓発・向上のために、三豊市内の小・中学校の児童・生徒が、福祉の大切さを自覚し、心豊かな人になることを願って福祉作文を毎年募集していたが、新型コロナウイルスの影響にて募集を中止した。

② ふくし川柳

川柳の創作と作品を通して、社会福祉意識の啓発・向上や福祉の大切さを広く伝えるために、「ふくし川柳」の作品を募集した。

総数 178 件の応募があり、入賞者には賞状と副賞を贈呈し、社協広報紙『しちふく』やホームページに掲載した。

<小・中学生の部>

応募総数	受賞内訳 (人)
143 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 4

<一般の部>

応募総数	受賞内訳 (人)
35 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 4

③ ファミリー写真コンテスト

コロナ禍の外出自粛の中で家族と共に過ごすことが多くなり、もう一度家族や地域とのつながりを再確認し、ファミリー写真コンテストへの参加を通じて絆を深めるきっかけ作りを行った。また、地域の若い世代に社協の存在・活動への関心を深めることに努めた。

気軽に応募できるようメールでの申し込みに変更した結果、61件の応募があった。最優秀賞、優秀賞を含め入選者へ賞品を送付し、社協広報紙『しちふく』やホームページに掲載した。

< 審査結果 >

応募総数	受賞内訳 (人)
61 件	最優秀賞 1
	優秀賞 2
	入選 17

(3) 相談事業 事業費 1,584,613円

地域住民の生活課題の解決に向け、日常生活に関する悩みや問題に対する「心配ごと相談」、法律に関する「法律相談」及び「社協ふくし相談」を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大により公共施設の利用制限が多くあった。

① 心配ごと相談

令和2年度より名称を「くらしの相談」から「心配ごと相談」に変更し、生活課題を早期発見することを目的として、民生委員・児童委員が地域住民の相談に応じた。

また、必要に応じて各支援機関や専門員と連携を図った。

< 相談状況等 > 相談：各支所毎月1回(第3水曜日)開催

地区	相談件数	相談分類計※	主な相談内容
高瀬	1	11	土地の境界・管理、対人関係等
山本	3	5	家族
三野	2	4	生計
豊中	4	3	苦情
詫間	5	1	住宅
仁尾	6	1	事故
財田	3	1	高齢者福祉
合計	24		

※相談分累計は、相談内容ごとに集計したため相談件数と一致しない。

② 法律相談

地域住民が日常生活における問題・紛争等の解決に、法律の知識を要するものについて、香川弁護士会と連携し、弁護士による指導及び助言を得ることができる場を設けた。

< 相談状況等 > 相談：毎月3回(第1・2・3火曜日)開催

地区	相談件数	相談分類計※	主な相談内容
高瀬	57	61	保証人、土地の境界、近所トラブル等
山本	19	56	財産(相続・遺言)
三野	17	33	人権・法律
豊中	19	29	家族
詫間	18	9	結婚・離婚
仁尾	19	8	住宅
財田	18	4	事故
合計	167	3	職業・生業

※高瀬は毎月、他は3か月に1回。新型コロナウイルスの影響により会場使用不可時は高瀬支所で実施。※相談分累計は、相談内容ごとに集計にて相談件数と一致しない。

③ 社協ふくし相談

本会職員が地域の身近な場所に出向き、地域住民や福祉活動者等の相談内容を伺い、悩みごと等があれば解決方法を一緒に考え寄り添う支援に努めた。その場で解決できない場合は必要に応じて関係機関へつなぐなど解決のお手伝いとなる場を設けた。

<相談状況等>

地区	相談件数
高瀬	1
山本	3
三野	0
豊中	2
仁尾	1
財田	0
合計	11

相談分類計	主な相談内容
7	空き家問題、地域活動・交流、独居問題等
2	健康・保健衛生
1	生計
1	教育・青少年

(4) 福祉バス管理運営事業 事業費 998,198円

地域福祉の推進を図るため、社会福祉を目的とする事業の実施及び社会福祉活動への住民参加に係る援助を目的に、新型コロナウイルスの影響により乗車定員を25人から12人に削減し福祉バスを運行した。

<月別運行状況>

利用登録団体:112団体

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用者数	12	0	12	11	0	0	12	110	25	0	12	0	194
運行回数	1	0	1	1	0	0	1	10	3	0	1	0	18

★福祉バス（平成17年1月登録：乗車定員25人）

(5) ボランティア活動推進事業 事業費 68,100円

新型コロナウイルスの影響により、ボランティアの活動先が減少・制限される中、ホームページも活用しながら幅広くボランティアの研修の案内を行い、人材育成を行った。

また、福祉セミナー事業とタイアップし、ボランティアセンターの新規のボランティア登録を行った他、個人のボランティアの希望者には、コロナ禍でもできる切手の整理をコーディネートした。

<ボランティア養成講座受講状況>

依頼先	内容	参加人数・団体数
「イクケン香川」たまご育て事業事務局 (認定NPO法人わははネット内)	子どもにかかわるボランティア活動へのきっかけ作り講座	7

<ボランティア活動保険加入状況>

※（ ）内は前年度末

保険の種類	加入団体数・件数	加入人数
ボランティア活動保険	81団体 (83)	1,625 (1,789)
	個人加入	8 (30)
行事用保険	55件 (20)	3,055 (1,427)

(6) 団体助成事業 事業費 134,000円

小さな親切運動高瀬支部・山本支部に助成を行い、子どもたちの健全育成、あいさつ運動、環境美化活動等を支援した。なお、次年度以降は共同募金等の助成を活用。

(7) 認知症サポーター養成講座事業 (三豊市受託事業) 事業費 45,108円

地域で認知症についての正しい理解や接し方について知識を深める取り組みとして、認知症サポーター養成講座事業を開催した。

コロナ禍の対応として、地域のキャラバンメイトは最小人数で対応した。また、蔓延防止等重点措置期間では、オンラインで講座を実施した。

小学校では認知症に係る寸劇に児童や担任の先生も参加をお願いすることで、より認知症の理解を深めることができた。市主催のキャラバンメイトの会にも参加した。

<養成講座>

開催日	受講先	受講人数 (サポーター数)
令和3年6月18日	山本小学校5年1組	35
6月18日	山本小学校5年2組	35
10月14日	桑山小学校5年生	24
10月26日	二ノ宮小学校5年生、6年生	23
10月28日	三豊市在住の方(市地域包括主催)	12
11月10日	三豊市在住の方(市地域包括主催)	13
令和4年1月13日	上高瀬小学校6年生	30
3月7日	笠田小学校6年生	22
3月10日	比地大小学校5年生	26
・団体、グループ:2回(1団体)・小学校:8回(6校)		合計 220

(8) 障害児長期休暇中預り事業 (三豊市受託事業) 事業費 1,701円

新型コロナウイルスの影響により、障がいのある子どもの預かりサービス(通称:みとよきらっと☆くらぶ)の開催(令和3年7月26日~30日、8月2日~6日:土日除く延10日間予定)は中止した。

(9) 自発的活動支援事業 (三豊市受託事業) 事業費 24,881円

障がい者及び障がい児が自立した生活を営むことができるよう、障がい者等、障がい者等の家族、地域住民等による地域における自発的な取組を支援することにより、共生社会の実現を図り、今後障がい者支援を充実させていくために、支援する関係者が障がい者(児)への理解を深め、支援のあり方について共に学び合うことを目的に開催した。

また、この研修会は、ボランティア養成をはじめ、障害児長期休暇中預り事業(みとよきらっと☆くらぶ)に参加したボランティアに対するフォローアップ研修も兼ねており、みとよきらっと☆くらぶの開催は中止となったが、今後、地域での当事者支援を充実させていくためにも、関係機関や地域のボランティアが集い、共に学び合う機会にもなった。

<研修会>

開催日／開催場所	テーマ／講師	参加人数
令和3年12月17日 市民交流センター	テーマ：「発達障害のある子どもの理解と対応」 講師：香川県発達障害者支援センター アルプスかがわ 新井 隆俊 氏	26

(10) 生活支援体制整備事業（三豊市受託事業） 事業費 2,830,220円

介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施のため、高齢者の困りごとを解決していくことや、子ども、障がいのある人も含め福祉制度の分野にかかわらず支援を必要とする全ての住民がより暮らしやすい地域の支え合いのしくみづくりを推進していくことを目的に実施した。また、この事業について職員間で共通認識を持つため、毎月定期的に地区担当職員（第2層生活支援コーディネーター）間で協議を重ね、中学校区に計7地区の第2層協議体が発足し協議を重ねている。

① 資源開発

新型コロナウイルスの影響により介護予防ボランティアフォローアップ講座及び第2層協議体研修会は中止したが、感染対策をとり介護予防ボランティア養成講座は実施し、地域の担い手の確保と社会参加の機会を設けた。

<介護予防ボランティア養成講座>修了者10人／延べ受講者65人

開催日／開催場所	内容	受講人数
令和3年10月11日 市危機管理センター	「市内における高齢者の現状と介護保険制度」 三豊市介護保険課長 「講義：ボランティア活動の意義や魅力」 一般社団法人 キラメキ社会福祉事務所 代表者理事 上田利枝 氏	16
10月13日 市危機管理センター	「認知症の理解（認知症サポーター養成講座）」 地域包括支援センター（社会福祉士） 「清潔保持と健康状態の管理」 地域包括支援センター（保健師）	14
10月18日 市危機管理センター	「高齢者における緊急時の対応」：DVD視聴 「車いす体験含む介助について」 本会職員	12
10月25日 市危機管理センター	「高齢者の口腔ケア」 歯科衛生士 佐野伸枝氏 「楽しく♪高齢者における音楽療法」 音楽療法士 大浦美樹 氏 「フレイル、みとよ元気体操」 地域包括支援センター（理学療法士）	13
10月28日 市危機管理センター	「年後の生きがいづくり」 広場幸せどころ代表 佐藤幸子 氏 「社会福祉協議会の活動について」	10

本会職員 ※修了証書交付・閉会

② ネットワークづくり

日常生活圏域において、多様な日常生活上の生活体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的に各地域の住民等による情報共有・話し合いを行った。

各地区に配置されている地区担当職員（第2層生活支援コーディネーター）が定期的集まり情報共有や地区ごとの進め方等について協議を重ねた。

<第2層協議体>

地区・協議体名	開催日	参加人数
高瀬地区協議体「朝日の会」	令和3年5月19日	7
	令和3年6月23日	10
	令和3年7月21日	8
	令和3年10月20日	9
	令和3年11月24日	6
	令和3年12月22日	9
	令和4年1月19日	8
山本地区協議体「どんぐりの会」	令和3年7月26日	11
	令和3年10月25日	13
	令和3年11月16日	7
	令和3年12月7日	11
	令和4年1月11日	9
三野地区協議体「福祉のまちづくり会みの」	令和3年6月28日	6
	令和3年10月6日	8
	令和3年12月13日	7
	令和4年2月10日	9
豊中地区協議体「とよなかタイム」	令和3年7月13日	22
	令和3年7月13日	22
	令和3年10月20日	18
	令和3年11月24日	21
	令和4年1月17日	24
	令和4年3月22日	19
詫間地区協議体	令和3年4月28日	9
	令和3年5月26日	8
	令和3年6月23日	8
	令和3年7月21日	9
	令和3年8月25日	8
	令和3年9月22日	8
	令和3年10月29日	11
	令和3年11月24日	8
令和3年12月22日	7	

	令和4年2月24日	6
	令和4年3月23日	8
仁尾地区協議体	令和3年10月21日	15
	令和3年11月25日	9
	令和3年12月23日	13
財田地区協議体「もっこくの会」	令和3年4月27日	9
	令和3年6月22日	10
	令和3年7月27日	9
	令和3年8月23日	9
	令和3年9月14日	4
	令和3年10月20日	24
	令和3年11月24日	9
	令和3年12月23日	7
	令和4年1月18日	5
	令和4年2月16日	8
	令和4年3月13日	3

<地区担当者会>

開催日	参加人数	開催日	参加人数
令和3年4月16日	6	10月1日	6
5月6日	6	11月1日	6
6月1日	6	12月1日	6
7月1日	6	令和4年1月4日	6
8月2日	6	2月1日	6
9月1日	6	3月1日	6

(11) 三豊市こどもの居場所づくり事業（三豊市受託事業）

事業費 2,041,862円

市内のこども食堂やそのほか、こどもの居場所づくりに関わる団体等とのネットワークを構築し、横のつながりによる活動の広がりや情報共有を深めるためネットワーク会議を実施した。また、継続的な事業となるよう、随時相談・支援活動の実施、こども食堂等の活動に必要な食材の提供や情報の共有を図るとともに、助成金の交付を行った。

<事業内容>

① こどもの居場所づくりに関わる団体への相談・支援活動内容

① こどもの居場所づくりに関わる団体への相談・支援活動内容		活動件数
相談・支援活動の状況	相談・支援窓口の設置	107 ※相談件数
	こどもの居場所づくり専用ホームページの運営	—
	食材、物品提供の分配	175
	外部助成金、研修会等情報提供	146
	運営会員、応援会員の登録	8
	香川県子どもの未来応援ネットワーク事業金銭教育ワークショップ	7

	ブ検討会への参加、試作会実施	
	NPO 法人子育てネットくすくす（善通寺市）と合同のひとり親家庭等を対象とした食品配布会・相談会を実施(10月～毎月1回)	6
	合計	449
	助成金交付実績 7 団体	合計 670,000 円

② ネットワーク会議の会員向け勉強会（交流会）の開催

	ネットワーク会議	開催日	開催場所	参加者数
開催状況	三豊市こどもの居場所づくりネットワーク会議	7月6日	(株) ドロワース	8
		10月21日	一般社団法人 SKY あーと	4
		3月30日	DVD、動画配信による活動報告	8 団体

③ 農業生産者、小売り業者等提供活動者との連携

	提供活動者との連携	実施日	提供内容	対象
連携状況	寄付金提供者（個人）	毎月	寄付金	4 団体
	民生委員・児童委員、学生、一般	4、12、1月	ボランティア協力	3 団体
	市内こどもの居場所	12月	食材提供	1 団体
	ハローズ観音寺店	4月～、8月～		2 団体
	ファミリーマート（ファミマフードドライブ）	8月～毎月第1、3水曜		市内居場所食品配布会
	登録会員数 令和4年3月	運営会員	団体 11	
応援会員		個人 2、団体 7		

④ 子育て世代包括支援センター等関係機関との連携

		活動件数
活動実績	子育て支援課（子育て世代包括支援センター等）	16 件
	香川県社会福祉協議会	32 件
	その他（地域子育て支援事業拠点すくすく、西部子ども相談センター、三豊市母子福祉会等）	16 件
	合計	64 件

⑤ その他

情報提供	発行物：広報紙（社協しちふく）
	ホームページへの掲載（社協内専用ホームページ、全国こども食堂支援センター・むすびえ）

3. 共同募金配分事業 事業費 12,826,441円

(1) 福祉セミナー等開催事業 事業費 878,750円

市内ボランティア団体・障がい者等のグループが相互の交流を図ること、更に新たなボランティアや地域活動者の発掘、活動資金確保の機会の創出を目的として「ふくしセミナー」と「ふれあいWEB動画コンサート～笑顔プロジェクト～」を開催した。

<ふくしセミナー>

開催日	会場名	内容	講師	参加人数
10月31日	詫間福祉センター	漢方よもやま話と地域活動の小話	『地域おこし協力隊』 高島正彦氏	13
11月20日	三豊市役所 山本庁舎	SDGs って何だろう？ 【カードゲームで学ぶSDGs】	『2030SDGs公認ファシリテーター』 西原 澄子氏	8
11月20日	豊中町 農村環境改善センター	終活入門講座	『キラメキ社会福祉士事務所』 代表理事 上田利枝氏	23
11月21日	財田町公民館	子どもと大人の発達障害の理解とかかわり方セミナー	発達障害者支援センター『アルプスかがわ』 センター長 新井隆俊氏	16
11月27日	三野町 生涯学習センター	心配しない子育てとゲーム・スマホの上手な付き合い方	『家庭教育支援チーム“ぴっぴ子育て”』 一般社団法人 倫理研究所 生涯局講師 浅井寿子氏	13
11月28日	仁尾町 体育センター	ユニバーサルスポーツ理解とボッチャ体験会	『香川県ボッチャ協会』 鈴木 仁・鈴木日出子氏外	25

【ふれあいWEB動画コンサート～笑顔プロジェクト～】

- 公開日時 令和4年1月1日午前0時～
- 公開方法 本会ホームページ及びYouTubeにて動画公開
- 出演団体（出演順）
 - ・リズムくらぶ にこにこ&ミュージックレンジャー
 - ・ふらっと仁尾・コスモサイターズ

(2) 福祉教育普及推進事業 事業費 1,514,000円

① 福祉普及推進校（園）指定事業

三豊市内の幼稚園児及び小学校児童や中学校生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、「思いやり」「やさしさ」を養うとともに、地域と連携した福祉教育の推進を目指すことを目的とする取り組みに対し、要綱に基づき助成金を交付した。

<助成状況>

区分	実施数	助成額(円)	主な事業内容
幼稚園	14 園	420,000	各種団体との交流（餅つき大会、芋ほり他）、地域の方々や未就学児へプレゼント等
小学校	18 校	880,000	保幼小連携活動、高齢者福祉施設訪問(プレゼント持参のみ他)、草刈ボランティア等
中学校	4 校	160,000	施設訪問(プランター、マスク寄贈他)、入場者を限定したミニコンサート等
合計	14 園 22 校	1,460,000	上限額：園 30,000 円/小・中 50,000 円

② 夏のチャレンジボランティア講座 2021

(対象：三観地区 5 高校・市内 7 中学校の生徒)

三観の高校生及び市内中学生を対象とした夏休み期間中のボランティア体験は、新型コロナウイルスの影響及び学生の夏休み期間短縮のため中止としたが、個別相談があった場合には受け入れが出来るよう、各ボランティア団体と連携を図り、参加の機会を確保すると共に、三豊市社協ふくしセミナーの一貫として学生向けの災害ボランティア講座を開催した。

<ボランティア受け入れ先>

	コース名	協力団体
1	読み聞かせボランティア	おはなしの会たかせ
2	夏まつり風こども食堂ボランティア	たくまこども食堂はびねすカフェ
3	海岸清掃ボランティア	たくまチョびっとサポート隊
合計 (3 コース)		

<災害ボランティア講座>

講師	内容	参加人数
香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靱化研究センター 高橋真里 氏	①災害ボランティア・災害ボランティアセンターに関する基礎知識 ②災害ボランティア活動訓練	12

③ 福祉体験学習への支援 (対象：市内小学校の主に 5・6 年生、中学生)

子どもたちへの福祉教育の一環として、市内の小学校 5・6 年生を対象に福祉体験を実施した。コロナ禍で体験学習を見送る学校が多く、例年よりも実施回数が減少した。実施の際には、担当教員と事前打合せを行い、コロナ感染予防対策、体験を通してのねらい、授業の進め方を確認するとともに、体験後の福祉活動等についてのアドバイスを行った。また、コロナ禍でも実施できるように、オンラインを活用した認知症サポーター養成講座を新たに取り入れた。

<体験内容>

体験内容	学校名	延回数	延人数
高齢者等疑似体験	上高瀬、二ノ宮、山本 2 回、桑山、比地大	6	165
車イス体験	山本 2 回、笠田	3	89

視覚障がい体験 (アイマスク体験含む)	上高瀬、山本 2 回	3	96
認知症サポーター養成講座	山本 2 回、桑山、二ノ宮、上高瀬、笠田 比地大	7	186
合計		19	536

※バリアフリーやユニバーサルデザインについての話を各体験の中で実施した。

(3) 居場所づくり推進事業 事業費 3,019,164円

ふれあい・いきいきサロン活動は、高齢者だけでなく、障がいのある人や子育て中の保護者、閉じこもり孤立しがちな人たちが、ボランティアである住民と共に地域の中で、いきいきと元気に生活できるつながりをもつ場（ふれあい・いきいきサロン）に対して助成金を交付し、活動を支援した。新型コロナウイルスの影響により、時間短縮や内容を会食以外にするなど、工夫しながら新たな形で取り組んだサロンが多く、随時開催等について相談対応を行った。

<高齢者サロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
高瀬	34	△4	475	3,824	619,000
山本	15	△2	118	1,685	280,000
三野	8	0	59	757	148,000
豊中	43	0	379	4,641	765,000
詫間	16	0	291	2,882	339,000
仁尾	17	0	101	1,438	317,000
財田	5	0	81	622	85,000
計	138	△6	1,504	15,849	2,553,000

<子育てサロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
豊中	2	0	89	1,162	80,000

<障害者サロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
山本	1	0	10	73	40,000

<毎日型サロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
三野	1	0	134	5236	100,000
豊中	1	0	240	960	100,000
財田	1	0	23	370	100,000

<サロン活動推進者研修会の開催状況>

地区	内容
高瀬	令和3年11月4日 みとよ未来創造館 「～ウン知育教室～健腸長寿」 香川ヤクルト販売株式会社 川畑 梓 氏 参加者：34人／参加サロン数 22

山本	令和4年3月29日 山本町保健センター 「弁護士に聞く身近な法律相談～相続・遺言と成年後見制度～」 法テラス香川 弁護士 上原みずほ氏・主任 槇山ゆめか氏 参加者：12人／参加サロン数 12
三野	新型コロナウイルスのため中止。
豊中	新型コロナウイルスのため中止。
詫間	令和3年8月4日 詫間町福祉センター 「高齢者にまつわる法律问题」 法テラス香川 主任 槇山ゆめか氏 弁護士 上原みずほ氏 参加者：9人／参加サロン数 9
仁尾	令和3年8月4日 市民センター仁尾【第1回】 「法テラス業務説明・弁護士講演会、サロン貸出用備品説明」 法テラス職員・弁護士 参加者：17人／参加サロン数 17 令和4年3月30日 市民センター仁尾【第2回】 「防災講話」 防災士 参加者：34人／参加サロン数 17
財田	令和3年11月11日 財田町公民館 「複合災害と復興」 香川大学特任教授 金田 義行氏 参加者：11人／参加サロン数 3

(4) 広報啓発事業 事業費 1,621,126円

地域住民への福祉活動の啓発や、サロン活動等の地域福祉活動など福祉の情報発信を目的に広報紙を年4回発行した。

また、タイムリーな情報発信をするために、ホームページを活用して、三豊市社会福祉協議会、ファミリー・サポート・センター、ボランティアセンター、三豊市こどもの居場所づくり事業のそれぞれのサイトから新着情報やスケジュール等の内容を随時更新し、正確な情報提供に努めた。

<「しちふく」の発行状況>

発行月	頁数	主な内容
令和3年 4月	16	ふれあいいいききサロン助成金案内、ボランティア保険案内、赤い羽根共同募金関連 他
7月	12	令和2年度事業報告・決算、令和3年度事業計画・予算、まるみちゃん安心キット（緊急情報キット）、こんにちはコール、ふくしセミナー等開催事業のお知らせ、地域活動応援事業 他
10月	12	役員ならびに評議員の改選、赤い羽根共同募金のお祝い、三豊市こどもの居場所づくり事業 他
令和4年 1月	12	三豊市・香川県社会福祉大会報告、ファミリー写真コンテスト、ふくし川柳、「赤い羽根募金箱をつくろう」コンクール受賞、ふれあいWEB動画コンサート～笑顔プロジェクト～・第16回三豊市社会福祉大会WEB動画配信のお知らせ 他

(5) 社会福祉大会開催事業 事業費 336,941円

「第16回三豊市社会福祉大会（令和3年11月13日開催予定）」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため式典は中止となったが、改めて12月14日に会長あいさつ、大会宣言、講話、職員との意見交換などを録画・編集した。また、録画内容等についてはホームページや広報で情報発信し、後日WEBにて動画配信を行った。

なお、多年にわたり社会福祉の発展に貢献されている方々をはじめ、三豊市社協に心温まるご寄附をいただいた個人・団体の皆さまへ感謝の意を込めて表彰状並びに感謝状を贈呈した。

令和3年7月7日 令和3年度会長表彰候補者の推薦について（各種団体依頼）

9月24日 第16回三豊市社会福祉大会実行委員会開催

受賞者の選考について・大会開催について

12月14日

会長あいさつ、大会宣言、講話、職員との意見交換、総評など録画

講話「地域で支えあうまちづくり～新型コロナはどう社協に影響を与えたか～」

講師：四国学院大学 社会福祉学部 准教授 岡田多恵子氏

令和4年1月17日 WEB動画配信開始

<受賞者>

表彰状		感謝状	
社会福祉事業奉仕者	5人	社会福祉事業協助者	15人
社会福祉事業奉仕団体	1団体	社会福祉事業協助団体	2団体

(6) 災害対策推進事業 事業費 1,679,114円

① 職員訓練及び研修

災害発生時に円滑に対応ができるよう、職員研修及び訓練として、緊急連絡手段のツールであるインターネット回線を使った安否確認システムの運用や入力操作の確認、課題の検証を行った。その他、外部講師によるオンライン学習会や、広域災害が発生した際に、近隣社協からの応援職員を含めたセンター運営が想定されることから、三豊・観音寺市両社協で合同の災害ボランティアセンター運営のシュミレーション訓練を行った。

<訓練状況>

開催日	内容	参加人数
令和3年 6月17日	三豊市社協災害時職員安否確認システム訓練 場所：三豊市社協各支所等 内容：グーグルフォームを利用した安否確認システムから、登録済職員メールアドレスへ安否確認の回答フォームを一斉配信し、現在の状況を返信することで職員の状況把握を行った。	50
令和4年 1月26日	三豊市災害ボランティアセンター運営研修（オンライン） 場所：本会本所会議室 内容：一般社団法人ピースボート災害支援センター職員を講師に、災害ボランティアセンターの役割と運営のポイントについてオンライン学習を行った。	13
3月29日	三観合同災害ボランティアセンター運営シュミレーション訓練 場所：観音寺市社会福祉センター	12

	内容：コロナ禍に対応したマニュアル及び様式を使い、実際にボランティア申込、受付、聴き取り訓練で収集した情報をもとに、コロナ対策を踏まえたボランティアセンター運営の模擬訓練を行った。	
--	--	--

<研修会等の出席>

開催日	会議名	開催場所等
令和3年5月26日	第5回災害時の連携を考える全国フォーラム	オンライン会議
6月8日	令和3年度第1回県内社会福祉協議会災害対応に係る担当者連絡会	オンライン会議
8月31日	PBV 緊急支援オンライン報告会	オンライン会議
9月18日	令和3年度県内被災者支援団体における災害ボランティア交流研修	香川県薬剤師会
11月19日	令和3年度災害時聴覚障害者意思疎通支援ボランティア研修	観音寺市役所
11月22日	被災地に寄り添うボランティアセンター運営研修会	オンライン会議
11月29、30日	災害ボランティアセンター運営者養成研修	香川県社会福祉センター
12月2、9、26日	コロナ禍における災害支援体験談～災害ボランティアセンター運営編～	オンライン会議
令和4年3月3日	令和3年度第2回県内社会福祉協議会災害対応に係る担当者連絡会	オンライン会議

② その他

災害時に使用する資機材の整備と防災倉庫の設置を行った。また、災害発生時には連携・協働が求められることから、地域の防災訓練や関係機関との合同訓練に参加し、役割分担や課題の確認・顔の見える関係づくりを行った。

開催日	内容
令和3年10月24日	みの防災フェスタ2021への参加協力
令和4年1月26日	令和3年度災害ボランティアに関する三者連携訓練への参加

(7) まるみプラン推進事業 事業費 1,758,764円

① 第3期三豊市地域福祉活動計画（まるみプラン）の推進

第3期計画を実践するため、各地区（旧町）の地域福祉活動計画（まるみプラン）実行委員会や地区社協等が主体となり、活動の見直しや新たな取り組みに向けて事業を実施した。

基本目標1の“ひとづくり”では、小地域活動の取り組み促進のため、地域活動応援事業の活用により、新たな社会資源の開発と担い手づくりを進めた。

基本目標2の“しくみづくり”では、特にニーズの高い法律相談についてはコロナ禍でも実施できるよう相談場所を高瀬支所に変更し継続して実施した。また、担い手同士のネットワークづくりとして市と連携し、こどもの居場所づくりに係るネットワーク会議等を

行った。

基本目標 3 の“きずなづくり”では、引き続き有事に備えた取り組みとして観音寺市社協と共にコロナ禍における災害ボランティアセンター運営について人数を絞った上で合同訓練を行った。

また、コロナ禍において多くの活動が自粛や縮小されるなか、出来ることを模索し、各地区の実行委員や関係者らと協議を重ねるとともに、学校、三豊市、各種団体等との連携・協働により地域福祉活動に取り組んだ。

<地区実行委員会等の開催・運営>

地区	委員人数	運営形体	開催数	実施事業
高瀬	開催事業に応じたボランティアスタッフ募集	(プラットフォームとして) まるみプロジェクト	会議 4 事業 2	地区社協を中心とした「まるみプロジェクト」として計画実施。全体会や各打ち合わせ会を経て、サロンや老人クラブの方を対象に「ごぼう先生の令和イス体操」(参加者 26 人) と子育て支援ステーションと共同で「手型アート」(親子 30 組) を実施した。「高瀬健康ウォーキング」は中止。
山本	16	全体会 地区社協会長会・ 正副委員長会等	2 1	「宝山湖公園ウォーキング」開催。 「お花見ウォーキング」中止。 長寿会行事への協賛、元気会交流会への参加。
三野	15	全体会	5	「ゴミ持ち帰り運動」の推進。 「子育て 10 カ条」の町内保・幼・小・中学校、各戸配布(啓発) 「みのふるさと再発見ウォーキング」開催。
豊中	26	全体会 リーダー会 集いの場 検討部会	7 6 1	「豊中まるみウォーキング」を開催。(参加者約 90 人) また、笠田高校の学生ボランティアも参加。 コロナ禍で閉じこもっていたが、久々の地域の行事に参加でき地域交流が図られた。
詫間	10	全体会等 事業	会議 4 事業 1	新しい生活様式に沿った『たくま分散ウォーキング』を開催。当日は詫間町の主要か所(松崎・詫間・大浜・箱浦)に分散し、各自時間内に自由なコースを設定し、ウォーキングを行った。 粟島・志々島は同日に独自の方法で実施。参加者はスタッフ含め 299 人で、ウォーキングのきっかけ作り、自分の住む地区の再発見や交流活動等に効果があった。

仁尾	16	事業	3	福祉ポスター募集・掲示及び見守り活動支援(地区社協共催事業)、ふれあいいきいきサロン備品整備事業等。
財田	31	全体会 打合せ会 事業	2 2 4	大規模災害に関する講演を開催し、防災意識を高め、併せて地域の困りごとを把握するため、生活についてのアンケートを実施した。また、高齢者世帯に対しおはぎ・弁当の配食サービスを実施。地区社協を中心とした「パフォーマンスシアター(腹話術・大道芸)」はコロナ禍のため中止し、「宝山湖ウォーキング」のみ開催。

② 地域福祉活動に対する助成金交付

- ・各地区地域福祉活動計画経費として、共同募金助成事業より経費を充当した。
- ・各地区とも 150,000 円の助成金を原資に地域での活動を実施した。

(8) 地域我が事・丸ごと推進事業 事業費 2,018,582円

我が事・丸ごとの地域づくりは、地域共生社会の実現に向けて、総合的に取り組むべきこととされており、この支援体制づくりに努めることで、制度・分野ごとの縦割りの関係を超え、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていく社会の一助となるよう取り組んだ。

昨年度に引き続き、小地域を基盤とした、住民の参加と協力により、安心して暮らせる地域づくりを目的に活動する事業や居場所の立ち上げ、援護が必要な方々の生活の見守り等を目的とする事業を実施する団体・グループに対し助成金を交付し、活動を支援した。

また、困窮世帯への即時支援に活用するための食材等を整備した。

① 地域活動応援事業(小地域活動に対する助成金交付)

<交付状況: 12 団体 13 事業>

(単位:円)

活動地域	活動内容	件数	助成金額
高瀬	こども食堂	1	300,000
		1	50,000
		1	26,400
山本	居場所づくり	1	50,000
		1	45,000
	こども食堂	1	300,000
		1	33,000
三野	配食サービス	1	50,000

豊中	居場所づくり	1	300,000
	啓発活動	1	50,000
詫間	居場所づくり	1	300,000
	ボランティア	1	50,000
財田	交流	1	50,000
合計		13	1,604,400

② 見守り活動助成事業（高齢者声かけ見守り活動に対する助成金交付）

< 交付状況：6 団体 >

（単位：円）

活動地域	対象者数	助成金額
高瀬	28	47,000
山本	16	41,000
三野	26	37,000
豊中	22	34,000
	16	41,000
詫間	122	50,000
合計	230	250,000

4. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）事業費 10,287,629円

低所得・障がい・高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、世帯の経済的自立・生活意欲の助長促進・在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に、民生委員・児童委員、三豊市、県社協と連携し相談支援を行った。併せて、既借受人を対象とした債権の管理及び世帯の実態把握を行うため、県社協主催の相談会を年2回(8月・12月)実施予定していたが、昨年度に続きコロナ禍で中止となった。なお、新型コロナウイルスの影響で減収した世帯向けへの新たな特例となる貸付相談を行った。

< 相談・貸付状況 >

（単位：件/円）

資金種別	相談件数	貸付件数	県社協貸付金額
コロナ特例貸付（総合）	285	152	83,300,000
福祉資金（福祉費）	7	0	0
福祉資金（緊急小口）	40	10	430,000
コロナ特例貸付（緊急小口）	243	110	21,880,000
教育支援資金	28	2	4,553,400
臨時特例つなぎ資金	0	0	0

その他	33	0	0
合計	636	274	110,163,400

5. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（県社協受託事業）

事業費 9,359,606円

高齢や障がいにより判断能力が不十分で、日常生活を送るうえで必要なサービスを実施した。利用するための情報を入手したり、理解したり、判断したり、意思表示を自分だけでは適切に行うことが困難な方に対し、地域において自立した生活が送れるよう、必要な手続きの援助、公共料金の支払いや年金の受領確認、生活費の払戻などの日常的なお金の管理、通帳や年金証書などの書類の預かり等を本人との契約により、専門員4人と生活支援員登録10人が利用者に対し、支援を行った。

<相談・援助件数>

内容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの・その他				合計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	0	1	0	0	1
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	21	6	6	5	38
c. 相談援助件数 (a・b以外)	2,098	1,140	1,987	827	6,052
合計	2,119	1,147	1,993	832	6,091

<利用者の状況>

(単位:人)

対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
新規契約者	11	3	3	3	20
契約終了者	7	0	2	0	9
令和3年度末利用者	15	15	14	8	52

(内:生活保護受給者11人)

① 専門員・生活支援員の活動について

専門員4人と生活支援員登録18人のうち10人が利用者に対し、訪問を行った。

<関係機関との会議・研修受講等>

開催日	会議名	開催場所
令和3年5月17日 8月18日 令和4年2月17日	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	香川県社会福祉総合センター 本会（オンライン）
令和3年9月 (随時)	専門員実践力強化研修会Ⅰ (オンデマンド配信)	本会（オンライン）
令和3年9月25日	あんしんネット勉強会	本会（オンライン）

10月26日	三観地域自立支援協議会 障害者差別解消支援地域協議会	三豊市危機管理センター
--------	-------------------------------	-------------

<研修会>

開催日	内容等	開催場所	参加人数
令和3年12月8日	仁尾地区民生委員・児童委員協議会 「成年後見制度について」	市民センター仁尾	13

6. 法人成年後見等事業 事業費 6,304,375円

(1) 法人成年後見等事業 事業費 6,137,593円

認知症高齢者、知的障がいのある人及び精神障がいのある人など判断能力が不十分な方に対し、裁判所より選任を受け、本人の判断能力や生活の実情に応じた身上監護及び財産管理を行った。ケースの内容によっては、弁護士と複数での受任を行っている。

なお、後見報酬（手数料）は裁判所が決定する。

<受任状況>

※年度末：受任件数16件

類型	成年後見	保佐	補助	合計	終了
令和2年度までの件数	9	9	2	20	8
令和3年度の件数	3	2	0	5	1
令和3年度末利用件数	6	9	1	16	

<利用者の年代別>

年齢	90才代	80才代	70才代	60才代	50才代	40才代
人数	2	7	2	3	1	1

(生活保護受給者なし)

① 三豊市法人成年後見事業検討委員会の設置

適正な業務を担保するため受任適否の判断や、後見業務の指導等を受けることを目的に法人成年後見事業検討委員会を設置している。

<委員会構成>

選出区分	選出団体等
学識経験者	四国学院大学社会福祉学科教授 香川県福祉サービス運営適正化委員会委員長
三豊市社協 役職員	三豊市社協 監事
弁護士	香川県弁護士会
司法書士	リーガルサポート香川
社会福祉士	一般社団法人香川県社会福祉士会
行政機関関係者	三豊市福祉課
	三豊市介護保険課

<委員会>

開催日	内容	開催場所
令和3年4月19日	新規受任ケース（2件）について審議	豊中町農村環境改善センター

8月11日	新規受任ケース（3件）について審議	三豊市豊中庁舎
12月27日	新規受任ケース（1件）について再審議	
令和4年3月16日	新規受任ケース（1件）について審議 令和3年度受任ケースに係る活動報告	

<関係機関の会議・研修受講等>

開催日	会議名	開催場所等
令和3年7月12日 令和4年3月2日	権利擁護関係事業担当者会	香川県社会福祉総合センター 本会（オンライン）
令和3年5月24日	権利擁護中核機関連絡会議	本会（オンライン）
6月9日 8月30日	受任者調整会議	三豊市危機管理センター 本会高瀬支所
10月29日	市町社協法人後見支援研修会（長崎県社協）	三豊市役所（オンライン）
11月18日	成年後見制度利用促進研修会	高松商工会議所
令和4年2月24日	三豊市成年後見制度利用促進審議会	（書面決議）
2月26日	後見人等への意思決定支援研修	本会（オンライン）

（2）市民後見人養成支援事業（三豊市受託事業） 事業費 166,782円

令和2年度の市民後見人養成講座修了者（市民後見人候補者）10人に対して、フォローアップ研修を年5回開催し、講師の方々の提供する事例などをもとに、活動に向けたスキル習得に励んだ。新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いた11月には、事例を通じて参加者同士で熱心なグループ討議も展開され、主催者側は参加者の熱意の確認ができ、参加者のモチベーションアップにもつながった。

また、研修とは別に、日常生活自立支援事業の生活支援員・法人後見支援員として実践を積んでいただけるよう、実践活動の場を提供し8人の活動を支援した。

これらを通して、地域における権利擁護支援の担い手養成と地域人材の活用につなげることができた。

<市民後見人養成フォローアップ研修>

開催日	内容	講師	受講人数
令和3年6月29日	令和3年度の研修計画と支援員活動について	三豊市社会福祉協議会職員	7
7月28日	事例から学ぶ認知症高齢者の対応	三豊市介護保険課 地域包括支援センター 社会福祉士 野島正光氏	8
10月2日	生活に寄り添う～障害のある人の意思決定支援と権利擁護～	しょうがい者地域生活支援センターふらっと 主任相談支援専門員 社会福祉士 大西 史訓氏	9
11月3日	成年後見制度利用における対人援助の方法～事例	合同会社船井ソーシャルワークオフィス 代表	8

	を通して活動の流れや援助の方法を学ぶ～	社会福祉士 船井 康雄氏	
令和4年3月8日	後見の実務を知ろう ～弁護士後見人として～ (DVD 配布)	有明法律事務所 弁護士 秋月智美氏	10

※欠席者には資料を送付し、補講対応を行った。

7. 生計困難者に対する相談支援事業 事業費 100,700円

香川おもいやりネットワーク事業は、社会福祉施設や民生委員・児童委員と三豊市社協が連携するネットワーク会議を3回開催し、情報交換や課題の共有を図るなど、支援を必要とする方に「地域全体で支援する仕組み」をつくり、「福祉でまちづくり」を目指し取り組んだ。

相談者23人（延べ31件）に対し、継続的相談とフードバンクや寄付物品等の活用により支援を行い、状況により生活福祉資金貸付制度や生活困窮者自立支援相談など、必要な制度や支援に繋げた。

<ネットワーク会議開催状況>

開催日	内容	場所	参加人数
令和3年10月7日	情報提供・意見交換	山本支所2階大会議室	13
12月21日			12
令和4年3月25日			10

8. 生活困窮者自立支援事業（三豊市受託事業）事業費 13,559,913円

（1）生活困窮者自立相談支援事業 事業費 6,336,585円

生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）に基づき生活保護受給者の前段階の生活困窮者及びひきこもりやニートの状態にあり、将来的に生活困窮に陥るリスクのある者に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を行った。

<相談・援助件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規受付件数	4	16	24	21	10	20	6	9	8	3	2	5	128
相談援助件数	4	18	15	8	9	6	4	9	2	15	13	32	135
合計	8	34	39	29	19	26	10	18	10	18	15	37	263

<関係機関との会議・研修受講等>

開催日	会議名	開催場所等
令和3年5月17日 8月18日 令和4年2月17日	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	香川県社会福祉総合センター 本会（オンライン）
令和3年6月18日	観音寺・三豊地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	書面決議
令和3年8月	主任相談支援員研修	本会（オンライン）

(随時)	(オンデマンド配信)	
令和3年9月13日	主任相談員研修 (ライブ配信)	本会 (オンライン)
令和3年9月 (随時)	相談員研修 (オンデマンド配信)	本会 (オンライン)
令和3年10月3日	香川県ひきこもり支援対策研修会	本会 (オンライン)
令和3年10月20日	重層的支援体制整備事業研修会	本会 (オンライン)
令和3年11月13日 ～11月27日	生活困窮者自立支援全国研究 交流大会 (ライブ配信およびオン デマンド配信)	本会 (オンライン)
令和3年11月26日	相談員研修 (ライブ配信)	本会 (オンライン)
令和3年12月3日 令和4年1月20日 2月17日	生活困窮者自立支援制度支援員研修	香川県庁本館 本会 (オンライン)
令和3年12月8日	香川県ひきこもり対策連絡協議会	本会 (オンライン)
令和4年1月13日 ～1月14日	中国・四国ブロック研修	本会 (オンライン)

(2) 子どもの学習支援事業 事業費 3,710,826円

生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生に対して基礎学力の向上や学習の場所・機会の提供などを通じて、高等学校への進学を支援することで、子どもの社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止することを目的に開催した。

なお、対象は、中学3年生を主とし、加えて2年生も対象とした。

○ 学習支援教室実施期間及び実施時間、場所

令和3年7月31日～令和4年2月26日 毎週土曜日 午前9時～12時

豊中町農村環境改善センター・市民交流センター、社協高瀬支所(オンライン教室開催時)

○ 参加者

生徒：中学3年生18人・中学2年生7人、学習支援員：12人・学生スタッフ：17人

<生徒内訳>

中学校	高瀬	三豊	三野津	豊中	詫間	仁尾	和光	合計
3年生	1	2	2	4	5	4	0	18
2年生	3	1	0	0	2	1	0	7

<開催数>

月	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
開催数	1	1	0	5	4	4	3	4	22

※8月2週目～9月末まで新型コロナウイルスの影響により会場使用不可のため中止

1月29日よりオンラインで教室を開催した。

<参加者数>

月	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
生徒	18	16	0	65	61	69	29	19	277
学習支援員	9	9	0	40	35	35	26	28	182

学生スタッフ	11	12	0	50	37	37	12	7	166
合計	38	37	0	155	133	141	67	54	625

(3) 家計改善支援事業 事業費 3,012,502円

生活困窮者自立支援法に基づき生活保護受給者の前段階の生活困窮者及びひきこもりやニートの状態にある者に、家計表等のツールを活用し、生活困窮者の属する世帯全体の家計収支等を評価・分析（アセスメント）状況に応じた家計再生計画を作成するとともに、対象者の家計改善の意欲を高めることを目的に実施した。

〈相談・援助件数〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規受付件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
相談援助件数	1	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	5	17
合計	2	0	1	1	1	1	2	1	1	2	1	6	19

〈関係機関との会議・研修受講等〉

開催日	会議名	開催場所
令和3年8月 (随時)	主任相談支援員研修 (オンデマンド配信)	本会 (オンライン)
令和3年10月8日	令和3年度家計改善支援事業従事者 養成研修	本会 (オンライン)
令和3年12月3日 令和4年1月20日	生活困窮者自立支援制度支援員研修	香川県庁

(4) 就労準備支援事業 事業費 500,000円

就労に必要な実践的な知識や技能等が不足しているだけでなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下している等の理由で、就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対し、就労につながる支援を計画的に実施した。

〈申請・支援件数〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
申請件数	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	6
支援件数	3	4	4	4	4	6	5	6	6	5	4	5	56

〈関係機関との会議・研修受講等〉

開催日	会議名	開催場所
令和3年11月30日	生活困窮者自立支援員研修	本会 (オンライン)
令和3年12月3日		香川県庁
令和4年1月20日		

9. ファミリー・サポート・センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 12,517,364円

(1) ファミリー・サポート・センター事業 事業費 11,001,771円

① 会員数及び活動件数

前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響も心配されるなか、2年目を迎えコロナワクチン接種もあり、援助活動を自粛していたまかせて会員が活動復帰したことで、援助がスムーズに行えるようになった。

また、子育て支援センター等での登録や来所による登録も増え、会員の増加につながった。他にも、養成講座を実施した際に、今まで中止により受講できていなかった人が受講でき、全ての講座を修了したことで、まかせて会員も増加した。

<会員数>

(単位:人)

会員種別	本年度	前年度	増減
提供(まかせて)会員	279	268	11
依頼(おねがい)会員	726	713	13
両方会員	38	44	△6
合計	1,043	1,025	18

<活動実績>

(単位:件)

相互援助活動の取組内容	本年度件数	前年度件数
① 保育施設までの送迎	701	818
② 放課後児童クラブまでの送迎(327)、終了後の預かり(154)	481	512
③ 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	195	332
④ 小学校までの送迎	18	97
⑤ 保護者等の外出の場合の援助	37	33
⑥ 保育所・学校等休み時の援助	10	26
⑦ 習い事等の送迎	361	450
⑧ その他	576	686
・母親(おねがい会員)宅での預かり・母親同伴の預かり	(10)	(145)
・保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	(2)	(4)
・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	(22)	(14)
・保護者の病気時・習い事等の場合、保育所入所前の援助	(0)	(0)
・保護者自宅までの送迎	(524)	(518)
・その他急用の場合の援助・保護者自宅以外への送迎	(18)	(5)
合計	2,379	2,954

② 会員に対して相互援助に必要な知識を付与する講習会の開催

(ア) 前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、まん延防止等重点措置期間の養成講座は中止となった。また、感染者が減少していた10月のみの開催となったが、今回で全講座修了する方が多くまかせて会員の増加につながった。

前回の講座修了者で援助活動をしている先輩会員の活動報告があり、受講者からは大変好評だった。

<まかせて会員養成講座>

開催日	内容	開催場所	受講人数
令和3年10月5日	①子育てをめぐる状況とファミサポ事業の説明 ②子どものかかわり・児童との遊び ③保育の心	豊中町保健センター	10
10月11日	④小児看護の基礎知識 ⑤子どもの発育と病気 ⑥子どもの世話・三豊市の母子保健事業		11
10月18日	⑦子どもの栄養と食生活 ⑧子どものかかわり・乳幼児との遊び ⑨子どもの発達とその課題		13
10月22日	⑩子どもの虐待と子育て支援者の役割 ⑪ファミサポのしくみ ⑫子どものケガ～予防・応急処置～ ⑬AEDと心肺蘇生法		20
10月25日	⑭保護者とのコミュニケーション ⑮発達障がいへの理解と家族の支援 ⑯先輩まかせて会員に聞く 援助の心得		13

(イ) 会員のスキルアップや注意喚起のためフォローアップ講習会を開催した。送迎を中心に援助活動している会員向けに、危険予知能力の向上を目指し簡易 KYT 危険予測講座を実施した。

他にも、5年に1回受講が必須となっている AED と心肺蘇生法の講習会を開催し、実際に援助を行っている会員に受講を促した。

<フォローアップ講習会>

開催日	内容	開催場所	受講人数
令和3年7月15日	簡易 KYT 危険予測講座 (送迎)	豊中町保健センター	13
令和4年3月25日	AED と心肺蘇生法		12

③ 会員相互の連携と親睦を図る交流会の開催

会員相互の連携と親睦を図るため、毎年、交流会を行っている。今年度も新型コロナウイルスの影響により小規模開催を余儀なくされた。また、子ども対象のイベントが減少していたこともあるが、参加人数に制限があるため参加できない人が多数出てしまった。次年度は、もう少し工夫を凝らした対応をしたい。

<交流会>

開催日	内容	開催場所	参加人数
令和3年12月11日	クリスマス会	豊中町保健センター	36

④ 関係機関との連携強化

(ア) 地域子育て支援センター、つどいの広場等との情報交換を行い、よりよい支援になるよう連携強化を図った。

(イ) 県内の関連機関（県・他センター）との連携をとり、会員への対応の仕方や養成講座開催の情報交換を行った。また、県内ファミサポ連絡会に参加し（リモート開催含む）、コロナ禍におけるファミサポの援助活動や会員を増やすための方法など、今後の手立ての参考になった。

<県内ファミサポ連絡会>

開催日	内容	開催場所
令和3年8月27日	令和2年度実績報告・令和3年度行事計画案・コロナ禍の援助活動について	オンライン
令和4年2月28日	発達障がいを持つ子どもへの対応・コロナ禍での援助活動について	次年度へ延期

(ウ) 今年度もコロナ禍のため、オンラインでの全国アドバイザー研修会となった。コロナ禍の中でどのようにして提供会員の確保をしているのか、どういったコロナ対策が有効だったか、オンライン上でグループワークを行った。

リスクマネジメント実践セミナーでは、事故防止のための簡易 KYT 講習会の重要性の説明があり、次に実施する際の参考となった。

<全国アドバイザー研修会>

開催日	内容	開催場所
令和3年10月15日	ファミリー・サポート・センター事業における～提供会員の確保に向けて～	オンライン

<リスクマネジメント実践セミナー>

開催日	内容	開催場所
令和3年12月15日	ファミリー・サポート・センター事業における～事故防止のための簡易 KYT 講習会実施の手引き～	オンライン

⑤ 情報提供・広報活動

ファミサポ通信を年3回発行し、各施設等に配布して活動状況や会員数・イベント情報・地域の子育て関連などの情報提供を行った。広報「みとよ」・社協だより「しちふく」にも定期的に情報を掲載し地域への情報発信を行い、会員増強に努めた。

子育て世代に向け、手軽に情報提供できるよう LINE 公式アカウントを設定し、周知するとともに登録を促した。

発行物	ファミリー・サポート・センターチラシ、(広報「みとよ」、社協だより「しちふく」、ファミサポ通信(年3回発行)、まかせて会員養成講座チラシ、子育てホームヘルプチラシ)
-----	--

(2) 子育てホームヘルプ事業 事業費 1,515,593円

令和3年4月より、妊娠期（母子健康手帳発行時）から子育て期（出生から3歳になった年度末）まで子育てホームヘルパーを派遣して、育児または、家事の援助、相談を行うサービスを実施。利用期間の変更により爆発的に利用が増えることを危惧したが、緩や

かな増加傾向であった。子どもが生後6か月からは、ファミリー・サポート事業と並行して利用でき、ニーズによって選べるようになった。

コロナ禍において、乳幼児を病院へ連れて行くことが不安な利用者が多く、病院への付き添いの援助は減少したが、家事援助（特に掃除）は増加した。また、下の子の病院受診や健診時に上の子を連れて行けないため、預かりを依頼する機会が増え、ファミリー・サポートへの登録が増加傾向にあった。

○ 登録会員数及び利用件数

<利用者・子育てホームヘルパー数>

登録会員数	利用者	26	(依頼人数 7)	人数計 79
	子育てホームヘルパー	53	(派遣人数 5)	

<活動件数>

活動実績	相互援助活動の取組内容		活動件数
	① 食事関係（調理全般）		7
② 子どもの世話（子守り・沐浴・沐浴介助・オムツ交換・授乳・寝かしつけ）		58	
③ 予防接種・健診・上の子の病院受診付添		1	
④ 掃除（洗濯・風呂掃除・トイレ掃除）		50	
	合 計	116	

<子育てホームヘルパー・フォローアップ講習会>

開催日	内容	開催場所	受講人数
令和4年3月25日	AEDと心肺蘇生法	豊中町保健センター	12

10. 居宅介護支援事業 事業費 53,282,496円

介護支援専門員が、要介護状態にある高齢者（介護予防等支援含む）に対し、適正な居宅介護支援を提供した。年度中に職員の退職により、介護支援専門員8人(常勤換算6.0人)から介護支援専門員6人(常勤換算4.8人)になった。

① 要介護ケアプラン業務

○延人数 1,738人（前年度 1,810人）前年度対比 96.0%

プラン料 要介護1、2 = 10,760円

要介護3～5 = 13,980円

※特定事業所加算Ⅲ取得(1件につき3,090円加算)

<介護度別内訳>

(単位:人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
803	555	130	141	109	1,738

<月別ケアプラン作成件数>

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	149	146	146	154	151	150	152	149	142	133	132	134	1,738
内初回加算	10	6	5	11	4	5	5	3	0	1	5	3	58

② 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務 (三豊市受託事業)

要支援 1、2 及び事業対象者

○延人数 389 人(前年度 409 人) 前年度末対比 95.1%

受託金 1,625,511 円

プラン料 3,942 円/件・初回加算(新規) 3,000 円/件

<月別予防プラン作成件数>

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	38	38	38	37	39	36	35	36	24	21	24	23	389
内新規対象者	1	0	0	1	2	0	0	2	1	0	2	0	9

③ 介護保険認定調査事業 (三豊市等受託事業)

介護保険法に定める要介護認定調査業務を受託し実施した。

(介護支援専門員資格者が従事)

○調査人数 317 人(前年度 176 人) 前年度対比 180.1%

受託金 597,375 円

調査料(市)在宅 = 3,500 円/件

施設 = 2,500 円/件

市外 = 2,200 円/件~4,400 円/件

<月別認定調査件数>

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
市	30	20	30	30	30	15	29	31	24	23	18	24	313
市外	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	4

居宅介護支援事業所の資質向上を目指し、ケアマネ会議(事業所内)を週 1 回開催し、議題に基づき共有連携を図ったほか、県や市、専門職団体が実施する研修会に参加する等スキルを磨いた。なお、新型コロナウイルスの影響により研修会は参加人数を制限したり、オンラインでの開催となった。

<介護支援専門員研修>

開催日	参加者	研修内容
令和 3 年 4 月	全員	ケアマネ会議(7.14.21.28 日)
5 月 14 日	全員	ケアマネ会議(12.19.26 日) 第 1 回介護支援専門員研修会: コロナ禍のため中止
6 月 11 日	全員 2	ケアマネ会議(3.10.17.24 日) 第 1 回主任介護支援専門員連絡会「特別障害者手当について、 コロナ発生時の対応について」
7 月	全員	ケアマネ会議(7.14.21.28 日)
8 月	全員	ケアマネ会議(4.12.19.26 日)
9 月 17 日	全員 1	ケアマネ会議(1.7.15.22.29 日) 第 2 回主任介護支援専門員連絡会「高齢者虐待について」: オン ライン研修

10月 1日	全員 1	ケアマネ会議(6.13.20.27日) 福祉サービス苦情対応研修会「苦情相談対応の実際と対応方法」:オンライン研修
17日	1	介護支援専門員資質向上研修「日常のギモン解消!アセスメント能力開発・強化セミナー」「いまさら聞けない!ケアプランの書き方セミナー」
11月 18日	全員 2	ケアマネ会議(10.17.24日) 西讃地域主任介護支援専門員連絡勉強会「災害対策における平時の取り組み(BCPの取り組み)」:オンライン研修
25日	3	第2回介護支援専門員研修会「事例検討会」
25日	3	他法人との事例検討会
12月	全員	ケアマネ会議(1.8.15.22日)
令和4年 1月	全員	ケアマネ会議(5.12.19.26日)
2月	全員	ケアマネ会議(2.9日)
3月 24日	全員 2	ケアマネ会議(2.9.16.23.30日) 第3回主任介護支援専門員連絡会
24日	2	第3回介護支援専門員研修会「ターミナルケアについて」

※その他、主任介護支援専門員更新研修(1人受講)

11. 訪問介護事業 事業費 47,447,715円

(1) 訪問介護事業 事業費 34,822,006円

介護福祉士または訪問介護員研修の修了者である職員または登録ヘルパーが、要介護状態にある高齢者に対し、介護保険法により適正に訪問介護を実施した。

介護保険・障害福祉サービスの事業所を管理者・サービス提供責任者の4人が、訪問計画・ヘルパー配置計画及びモニタリングを行い、利用者の生活機能の維持、向上を目指し支援を行った。

<介護度別利用人数>

(単位:人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
31	14	3	3	0	51

<月別利用人数>

前年度末 735人 対前年比 84.5%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	51	49	49	51	49	53	52	53	55	53	55	51	621

<月別利用延人数>

前年度末 10,403人 対前年比 75.3%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	580	550	633	638	646	689	686	670	710	674	622	737	7,835

(2) 生活支援訪問事業 事業費 11,707,292円

三豊市の介護予防・日常生活支援事業の実施に伴い、介護予防・日常生活支援を、その心身状況や環境状況に応じた適切な訪問サービスを実施した。

<対象別人数>

(単位:人)

事業対象者	要支援 1	要支援 2	合計
5	13	46	64

※予防サービス利用者は、訪問サービス(I)～(III)を選択できる。

訪問型独自サービスⅠ…週1回程度の利用 1,172/単位(1単位:10円)

訪問型独自サービスⅡ…週2回程度の利用 2,342/単位(1単位:10円)

訪問型独自サービスⅢ…週2回以上の利用 3,715/単位(1単位:10円)

(実績に伴う1回単位での収入)

<月別利用人数>

前年度末 768人 対前年比 111.8%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	73	71	74	74	76	73	73	76	72	67	66	64	859

<月別利用延人数>

前年度末 4,898人 対前年比 120.1%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	513	493	510	529	526	500	515	530	482	426	398	460	5,882

(3) その他訪問事業 事業費 918,417円

① 生活管理指導員派遣事業 (三豊市受託事業)

ひとり暮らし高齢者への訪問事業(原則、週1回1時間程度)は、日常生活(家事・対人関係等)への支援・指導を関係機関と緊密に連絡調整を行い、要介護状態の進行予防を実施した。

・受託事業収入 372,360円

<派遣回数等>

派遣回数	時間数(前年度末)	延利用者数	対前年比(時間数)
83回	83時間(174時間)	24人	47.7%

② 養育支援訪問事業 (三豊市受託事業)

乳幼児家庭全戸訪問事業において把握した訪問による養育支援が必要である家庭に対し、訪問サービスを実施し、養育に関する相談や必要な支援を行った。

三豊市から養育支援が必要な家庭の依頼は、1世帯(11か月間)となった。

<派遣回数等>

派遣回数	時間数(前年度末)	延利用者数	対前年比(時間数)
31回	31時間(2時間)	11人	1550.0%

③ 支援サービス事業

介護保険事業外の訪問サービスを全額利用者負担で提供した。(対象者1人)

④ その他

訪問介護サービスの提供にあたり、担当のサービス提供責任者と訪問する登録ヘルパーとのカンファレンス(ケース検討)、また、サービス向上とヘルパーの資質向上を目指した定期的な会議の開催や、研修会に参加した。他の事業同様、対外的な研修は中止や回数を減らすなど参加人数を制限しての開催となった。

<訪問介護事業(障がい含む)における研修会及びカンファレンスの開催状況>

	開催日	参加人数	研修内容
令和3年	4月13日	13	ヘルパーミーティング(高瀬地区)「新体制・コロナ感染対応について」
	14日	12	ヘルパーミーティング(仁尾地区)「新体制・コロナ感染対応について」
		4	ヘルパーミーティング(財田地区は文書にて周知)
	5月12日	36	新型コロナ感染対応(文書にて周知)
	12日	4	介護リーダー会議(5月行事予定、組織体制 他)
	6月10日	4	介護リーダー会議(6月行事予定 他)
	7月1日	1	三豊市在宅医療介護連携勉強会 「訪問時に活用できる低栄養の方の見つけ方」
	14日	4	介護リーダー会議(7月行事予定、研修DVD 他)
	21日	11	ヘルパーミーティング(仁尾地区)「コロナウイルス・熱中症について」 ヘルパーミーティング(財田・高瀬地区は文書にて周知)
	29日	1	円滑なコミュニケーションの取り方・認知症の基礎知識
	8月5日	1	三豊市在宅医療介護連携勉強会 「在宅での口腔ケアについて」
	12日	4	介護リーダー会議(8月行事予定、感染症対策支援 他)
	16日	36	新型コロナ感染症対応注意喚起(文書にて周知)
	20日	1	メンタルヘルス研修・医療知識に関する研修
	9月22日	4	介護リーダー会議(9月行事予定 他)
	10月7日	1	三豊市在宅医療介護連携勉強会 「8050問題について」: ZOOM開催
		1	障害福祉サービス苦情対応研修会
	13日	4	介護リーダー会議(10月行事予定 他)
	18.19日	1	介護技術に関する研修
	11月4日	1	三豊市在宅医療介護連携勉強会 「在宅生活を支える訪問リハビリ」
10日	1	介護技術に関する研修	
	4	介護リーダー会議(11月行事予定 他)	
16日	15	ヘルパーミーティング(財田・高瀬地区)コロナ感染対策について 研修「訪問介護に求められる接遇マナー」	
12月2日	1	三豊市在宅医療介護連携勉強会 「薬局・薬剤師とうまく連携するために」	
8日	36	新型コロナ感染症対応注意喚起(文書にて周知)	
13日	1	フォローアップ研修	
10日	4	介護リーダー会議(12月行事予定 他)	
15日	11	ヘルパーミーティング(仁尾地区)「コロナウイルス予防対策について」	

令和4年	1月6日	1	三豊市在宅医療介護連携勉強会 「認知症の人が前向きに生きるための支援の在り方」
	12日	4	介護リーダー会議（1月行事予定 他）
	13.20日	36	新型コロナ感染症対応注意喚起（文章にてヘルパーに周知）
	2月9日	4	介護リーダー会議（2月行事予定、介護職員処遇改善加算・ 処遇改善支援補助金について）
	3月7日	36	新型コロナ感染症対応注意喚起（文章にてヘルパーに周知） 介護リーダー会議（3月行事予定 他）
	9日	4	介護サービス事業所集団指導（中止）

12. 障害福祉サービス事業 事業費 6,477,444円

身体障がい・知的障がい・精神障がい等のある人の日常生活を支援し、自立した生活を営むことができるようヘルパー派遣を行った。

家事援助が大半を占めているが、通所利用者の移動時の見守り・支援、入浴介助・通院、外出時の援助・排泄行為の介助などのサービスも実施した。

（1）障害福祉サービス事業（居宅介護） 事業費 5,938,523円

（2）障害福祉サービス事業（行動援護） 事業費 538,921円

<区分別利用人数>

（単位：人）

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
9	17	8	1	3	1	39

延利用者数 481人（前年度末413人） 前年度末対比 116.5%

（内訳 居宅介護 469人・行動援護 12人）

給付費収入 7,147,138円

<月別利用人数>

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	37	38	39	39	40	39	41	43	43	42	40	40	481

<月別利用回数>

前年度末2,869回 対前年比 138.2%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
居宅	290	297	318	306	309	316	317	360	363	343	290	361	3,966
行動	9	7	9	8	9	8	9	8	8	8	4	9	

13. 移動支援事業（三豊市受託事業） 事業費 1,575,066円

1回あたりの費用	30分まで	1,500円
	1時間まで	3,000円
	以後30分につき	1,000円

<月別利用人数>

前年度末 70人 対前年比 101.4%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	6	6	8	6	7	7	5	5	6	5	4	6	71

<月別利用回数>

前年度末 466回 対前年比 100.9%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	38	39	48	41	42	42	36	36	36	32	34	44	468

14. 高齢者デイサービスセンター事業 (三豊市受託事業)

事業費 43,228,343円

三豊市財田町デイサービスセンターの運営を三豊市から受託し、各種のサービスを提供することにより、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的に実施した。

<活動内容>

時間帯	活動内容
9時～	職員が送迎車で自宅に迎え
9時30分～	健康チェック・入浴・手作業・昼食・機能訓練・レクリエーション・おやつ等
15時30分～	職員が送迎車で自宅に送る

<月別実施状況>

前年度利用延人数 4,871人 対前年比 105.2%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242
月別利用者数	44	47	45	47	48	47	47	46	47	47	44	48	
利用延人数	390	358	460	399	457	409	460	463	459	420	368	483	5,126

※ 1日平均利用人数 21.2人

15. 生活支援通所事業 (三豊市受託事業) 事業費 2,417,884円

総合事業(通所型サービスA事業)は、高齢者が要介護状態にならないように、レクリエーションや入浴など生活支援を行い、誰もが住みなれた地域での生活の継続するため「環の湯」にて週1回、水曜日に実施した。

なお、新型コロナウイルスの影響により5月12日から通所サービスを一時休止したが、6月2日より感染予防対策を講じたうえで再開した。また、2月16日も近隣での感染がみられたため休止した。

※利用者負担額 1回 一律1,230円(昼食、『環の湯』入浴料含む)

<月別実施状況>

前年度利用延人数 290人 対前年比 129.3%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施日数	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	44
月別利用者数	9	8	8	9	9	9	9	9	9	9	10	10	
利用延人数	33	8	32	36	35	36	36	33	35	28	27	36	375

※ 1日平均利用人数 8.5人

16. 高齢者生活福祉センター事業（三豊市受託事業）事業費 370,000円

三豊市財田町高齢者生活福祉センターは、高齢のため居宅において生活に不安のある者に対し、必要に応じ住居を提供する事業である。

生活援助員が行う事務のうち、平日の昼間において入居している1人からの各種相談及び助言や安否確認等を行った。

17. 地域移動支援事業 事業費 6,303,353円

三豊市・ダイハツ工業㈱・三豊市社協が連携し、各介護施設が単独で行う送迎業務を集約した共同送迎のプレ運行を行い、令和2年度に引き続き送迎業務の効率化や業務負担の軽減、利用者のサービス満足度向上への貢献度などの評価分析を行い、令和4年度からの本格運行に向け取り組んだ。

さらに、モノ（冷凍弁当）の移動サービスを試行し、新たな事業展開の可能性を検討した。

また、送迎車両の運行に関しては、ドライバーの雇用、就業管理等を本山タクシーに「運行管理業務委託」を行うことで運営と運行を分離した場合の事業実施にも取り組んだ。

<概要>

プレ運行期間：令和3年11月29日～令和4年1月20日（12/31～1/3を除く）

参加施設：5法人5施設（山本地区・財田地域）

参加人数：登録62人、送迎実績数1,375人（延べ）

冷凍弁当実績：購入者7人（内ひとり暮らし高齢者4人）、販売個数42個

使用車両：4台（予備車両はタクシー車両を想定）

運行体制：運転スタッフ11人、運営スタッフ2人

<事業評価>

○実証期間中は、事故・ケガ等も発生せず、概ね計画どおり運行することができた。

○利用者の満足度もアンケート結果から、「良」の比率は1週目79%⇒2週目89%
3週目98%⇒4週目98%の評価を得た。

○運転スタッフの介護研修等の期間が限られ、研修不足により一部の利用者から不満の声も聞かれたが、送迎を重ねるたびに改善することができた。介護実習、走行ルートの試走など研修に必要な課題を明確にすることができた。

18. その他事業

（1）老人クラブ連合会

三豊市老人クラブ連合会では、高齢者福祉の理念に基づき「健康・友愛・奉仕」を基本に、健康で生きがいのある生活の実現と、高齢者の保健福祉の健全な発展に寄与することを目的としている。

当連合会の事務局を務め各所への連絡調整、会議・委員会の開催、行事の開催等の支援を行った。

新型コロナウイルスの影響により、予定していた行事の多くは中止を余儀なくされたが、時間短縮やオンライン開催など、少しでも行事が実施できるよう検討した。

<総会・理事会・女性委員会・部会>

開催日	会議名等	参加人数
令和3年 4月30日	第154回理事会	9
5月10日	第1回健康長寿部会	12
6月16日	第155回理事会	9
7月9日	第1回女性委員会	7
7月21日	第156回理事会	9
7月30日	第1回生涯学習部会	6
8月16日	第157回理事会(コロナのため書面周知)	9
9月3日	第2回生涯学習部会(コロナのため書面周知)	7
10月14日	第158回理事会	9
11月12日	第1回広報部会	6
11月22日	第159回理事会	9
11月30日	第2回女性委員会	7
12月2日	第2回広報部会	6
12月6日	第3回生涯学習部会	7
12月15日	第160回理事会	9
令和4年 1月21日	第161回理事会(コロナのため書面周知)	9
2月8日	第3回広報部会(コロナのため書面で修正確認)	7
2月16日	第162回理事会(コロナのため書面周知)	9
3月7日	第3回女性委員会(オンライン開催) 第2回健康長寿部会(オンライン開催)	7 14
3月10日	第4回生涯学習部会(オンライン開催)	6
3月16日	第163回理事会(オンライン開催)	9

<町老連・地区老連等事業>

スポーツ大会の開催 (市老連助成事業)	各町老連で運動会・種別スポーツ大会等を開催(参加人数延べ683人)
友愛チーム活動の推進	友愛チーム活動・たまり場活動の推進 (チーム数:46)(たまり場活動数:77か所)
交通安全運動の推進	交通安全に関する各種活動の実施
地域の(子ども)見守り活動 と「あいさつ運動」の実施	登下校時における見守りとあいさつ運動展開 (クラブ数:19)(会員数:327人)

<市老連主催事業>

名称	期日	会場	参加人員	概要
女性委員によるあずま袋作成	5/19	三豊市社会福祉協議会高瀬支所	8	全国老人クラブ大会にて配布用のあずま袋作成(仕上げ作業)
第6回ペタンク大会	6/2	比地小第2グラウンド		新型コロナのため中止

第1回女性委員会主催研修会	7/9	みとよ未来創造館	40	災害研修「避難行動訓練」 担当：本会
生涯学習部交通立哨	10/13	仁尾町/仁尾支所、仁尾石油前、詫間町/マリンウェーブ前	14 10	交差点にて交通立哨実施・啓発活動（三豊署協力）
生涯学習部交通立哨	10/20	豊中町/ゆめタウン前 財田町/財田中川上総合センター交差点	8 6	
生涯学習部交通立哨	10/22	山本町/長瀬交差点 三野町/ピカソ三野店交差点	11 10	
第8回グラウンドゴルフ大会	10/23	財田町総合運動公園		
生涯学習部交通立哨	11/1	高瀬町/マルナカ前交差点	5	交差点にて交通立哨実施・啓発活動（三豊署協力）
第2回女性委員会主催研修会	11/9	仁尾町一円・古街散策	39	仁尾町老連の活動報告 造酢会社、製パン所、蒲鉾店、豆腐屋、吉祥院、利器製作所を見学
第3回女性委員会主催研修会	1/28	市民交流センター		「高齢者にやさしい健康体操」 新型コロナのため中止
生涯学習部会研修会	2/2	市民交流センター		「高齢者の交通安全」 新型コロナのため中止
かがやきクラブ三豊 広報紙発行	3/15	—		各町老連、市老連の活動内容などを掲載 新規会員募集
生涯学習部交通立哨	3/22	詫間町/マリンウェーブ前	9	交差点にて交通立哨実施・啓発活動（三豊署協力）
単位クラブ活動研修会	3月	資料配布として実施		詫間町老連（松寿会/松崎）の活動報告 新型コロナのため、活動内容を冊子にまとめて各町老連へ必要部数を配布

<その他研修等参加>

名称	期日	会場	参加人員	概要
三豊市「歯と口の健康フェスタ」協力	6月	—		コロナ禍のため中止
中国・四国老人クラブリーダー研修会	7/1-2	岡山県倉敷市		

第 62 四国 老人クラブ大会	8 月	高知県高知市		
老人の日・老人週間 「社会奉仕の日」	9 月	それぞれの老人クラブで実施		
シニアスポーツ交流大会 (ペタンク)	10/7	坂出市番の州公園	18	健康づくりや体力の保持・ 増進、広域観でのスポーツ 交流
シニアスポーツ交流大会 (グラウンドゴルフ)	10/21	高松市立東部運動公園・第1サッカー場	20	健康づくりや体力の保持・ 増進、広域観でのスポーツ 交流
ぼちぼちクラブ 香川みんなの集い	11/12			全国大会開催のため中止
全国老人クラブ大会	11/17	香川県/サンポートホール高松	約 200	表彰式典、滝宮の念仏踊り、 豊中町笠田松寿会より活動 発表
地域リーダー研修会	3/1		7	資料、DVD 配布

(2) 共同募金事業

地域の福祉活動を支援し、活動の財源とするため共同募金運動に協力し、市民の理解を深めた。また、三豊市共同募金委員会として、募金活動及び助成に関わる業務について運営委員・審査委員との協議を行いながら、地域活動への援助を行える体制に努めた。

<一般募金>

(単位:円)

募金方法	目標額(A)	実績額(B)	比較増減(B)－(A)
戸別募金	16,523,000	16,326,000	△197,000
街頭募金	120,000	136,931	16,931
法人募金	3,420,000	3,319,000	△101,000
学校募金	600,000	537,280	△62,720
職域募金	1,090,000	1,094,000	4,000
イベント募金	10,000	3,160	△6,840
個人募金	14,000	14,317	317
その他の募金	223,000	100,367	△122,633
合計	22,000,000	21,531,055	△468,945

<街頭募金>

地区	実施日	実施場所	参加人数
高瀬	令和3年10月1日	マルヨシセンター高瀬店	11
	10月1日	マルナカ高瀬店	11
山本	10月20日	マルナカ山本店	10
三野	10月7日	ピカソ三野店	9
豊中	10月5日	ゆめタウン三豊店	30

豊中	10月5日	マルナカ豊中店	7
詫間	10月1日	JR四国 詫間駅前	3
仁尾	10月4日	ショッピングストア今川	8
財田	10月9日	道の駅たからだの里物産館	6

<審査委員会>

開催日	内容	結果
令和3年 6月4日	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業共同募金地域助成申請に係る審査について 令和4年度共同募金推進計画について (書面による決議)	承認 承認
令和4年 2月25日	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度地域助成事業の辞退及び中止、変更について 令和3年度募金結果について 令和4年度事業共同募金地域助成計画(最終)について (書面による決議)	報告 報告 承認

<運営委員会>

開催日	内容	結果
令和3年 6月14日	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業共同募金地域助成計画統括表について 令和4年度共同募金推進計画について 令和2年度共同募金収支決算について 監事の選任について 運営委員の選任について (書面による決議)	承認 承認 承認 承認 承認
令和4年 3月11日	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度地域助成事業の辞退及び中止、変更について 令和3年度募金結果について 令和4年度事業共同募金地域助成計画(最終)について 令和4年度三豊市共同募金委員会収支予算について (書面による決議)	報告 報告 報告 承認

<会計監査>

開催日	主要付議事項	結果
令和3年5月24日	・令和2年度決算監査	認定

<令和2年度共同募金(令和3年度事業)地域助成事業> (単位:件/円)

助成先(事業執行者)	事業件数	事業名	助成金額
本会	8	居場所づくり推進事業、広報啓発事業、福祉セミナー等開催事業、三豊市社会福祉大会開催事業、福祉教育普及推進事業、災害対策推進事業、まるみプラン推進事業、地域我が事・丸ごと推進事業	10,574,774
地区社協 自治会等	35	高齢者地域交流事業、ボランティアスキルアップ事業、集いの場支援事業、防災減災活動支援事業、事業告知	3,734,000

		広報発行事業等	
福祉団体 ボランティア団体	73	健康長寿事業、地域子育て支援事業、 こども手話教室事業、環境美化運動、 点字絵本作成事業、友愛活動事業、更 生保護事業、ボランティア地域交流 活動、子ども食堂事業、海岸清掃事業 等	4,772,000
合計	116		19,080,774

※助成申請 116 事業中、1 事業が助成を辞退し、新型コロナウイルス感染症の影響により 9 事業が中止となった。

(3) 子育てボランティアみみちゃん

子育てボランティアみみちゃんは、自分たちにできる育児の手伝いと、本会が取り組む子育て支援事業への協力を目的に設立し活動している。本会が事務局を務め、三豊市内での行政や各種団体からの託児ボランティア派遣要請に対し、連絡調整を行った。また、年間を通じて知識の習得や会員同士の親睦の機会を持つため研修会等を企画、実施した。新型コロナウイルスの影響により、子育て世代のイベントの中止が相次ぎ、託児依頼が激減した。

<託児活動>

行事名	回数	託児ボランティア数	依頼団体
離乳食講習会	6	18	三豊市子育て支援課

<自主行事>

開催日	活動内容	開催場所	参加人数
令和3年6月11日	研修会（ヨーガ療法体験） 山原香織 氏	みとよ未来創造館	10
11月2日	フェルトのバッグ作り 水野真理子 氏	豊中町保健センター	13
令和3年12月17日	フラワーアレンジメント 関 美保 氏		14

(4) フードバンク事業

フードバンク事業は、寄付いただいた食料品等を、支援を必要とする方に提供しており、29件の相談及び支援を行った。

この事業は「おもいやりネットワーク事業」や「生活福祉資金貸付事業」と調整を図り、地域で自立した生活ができるよう支援することを目的としている。

年間を通して玄米等の寄付をいただいております。昨年度整備した保冷庫及び精米機を活用しながら支援することができています。令和3年度は新たに業務用冷蔵庫を整備し、生鮮食品や冷凍食品等の寄付についても新たに受け入れが可能となった。また、引越等で生じた

使用できる家電製品等の寄付物品により、食材支援以外にも必要な世帯への物品支援に繋ぐことができている。

(5) NPO法人後見ネットかがわへの協力

平成30年度より、同法人の活動目的に賛同し、地域の高齢者や障がいのある人・未成年者等の権利擁護推進のため、同法人の受任する後見人等（監督人を含む）の支援を行っている。